

令和6年度第1回下関市人権施策推進審議会 議事概要録

(審議会発足通算第10回)

1 日 時	令和6年8月2日（金） 10:00～11:15
2 場 所	下関市商工業振興センター大ホール
3 出席者	下関市人権施策推進審議会委員 13名 下関市・下関市教育委員会職員 10名
【委嘱状交付式】 1 委員委嘱状交付 2 市民部長挨拶 【令和6年度第1回下関市人権施策推進審議会】 1 事務局職員紹介 2 報告事項 (1)「令和5年度事業実績について」（事務局より説明） ※質問、意見等なし (2)「令和6年度事業計画について」（事務局より説明） ※質問・意見等 委員A：審議会資料のⅢ人権の学習講座・研修会等の開催の人権ふれあいセミナー（年3回）について、「勤務後に参加できるよう平日夕刻に、人権課題について広く」で途切れているが、その後の文章は何か。 事務局：「勤務後に参加できるよう平日夕刻に、人権課題について広く地域住民を対象としたもの」という言葉になる。 委員B：人権ふれあいセミナーの開始時刻について、参加しづらい声もあるため、3回のうち1回でも平日の午後に設定するなど検討してほしい。	

事務局：時間については苦慮しているところもあるので、参考にさせていただく。

3 その他

「山口県のLGBT等理解増進施策について」（事務局より説明）

事務局：令和6年9月1日より施行される「山口県パートナーシップ宣誓制度」の概要等を説明。

※質問・意見等

委員C：宣誓者が幅広い行政サービスが受けられるよう市として考えていただきたい。また、令和6年度重点目標の一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進するために、市内相互に連携して取り組むという内容に子どもや高齢者の貧困について、支援をいただきたい。

事務局：今後の参考にさせていただく。

委員D：中学校の授業を参観したとき、どの学級も同じような授業内容で個性を感じなかったが、県教育委員会の学習展開例を活用するメリットをお聞きしたい。

事務局：授業の進め方に困っている教員などの参考となるように県教育委員会が学習の流れを様々な教科で提供しているもので、研修の場で具体例を示しながら説明している。

委員E：人権については国際的または歴史的にみても非常に困難な問題があり、我々自身の人権というものについて理解しているのか、様々な人権に対する違う考え方、行動がある。常に注意をしながら人権問題を考えていく必要がある。

会長：人権というのは理念であり正解というものが導かれるものではない。その方自身が私にとってはこれが正解というものが多く増えるよう期待したい。